

第3次掛川市総合計画 パブリックコメント

1 実施期間 令和7年12月17日～令和8年1月16日

2 意見数 61件（16人）

3 意見の概要

NO.	項目 (分野)	意見の概要	市の考え方
1	全体	全体的に定性的で具体性が見えない。	令和8年度に策定を進める「実施計画」では、施策ごとに具体的な目標などを設定し、市民の皆さまが総合計画の進捗状況を把握しやすいよう努めてまいります。
2	全体	理念や表現が抽象的で、具体的な実行イメージや市民生活・現場への影響が不明瞭な点が懸念される。	令和8年度に策定を進める「実施計画」では、具体的な施策内容や市民生活・現場への影響を明確に示し、より実効性の高い計画となるよう努めてまいります。
3	全体	個別施策全体を通して、施策の優先順位や実施主体が不明瞭に感じる。また、現場業務や地域活動への影響が心配される。特に、共創においては参画される方の負担のならないような設計が必要だと考える。	施策の優先順位や実施主体の役割分担は、実施計画で明確にしていまいります。また、現場業務や地域活動への影響については、具体的な施策の検討段階で関係者のご意見を伺いながら、負担軽減のための工夫を盛り込んでいきます。「共創」においては、市民が参加しやすい仕組みや負担とならない設計を検討していきたいと考えております。
4	全体	現行の総合計画と比較して具体的な案や数値が不足しており、全体的に「何をしたいのか」が不透明に感じられる。また、市民が本計画を「自分ごと」として捉えられるよう、具体案や具体例、目標数値などを示すべき。	計画の具体性などの提示は、市民の皆さまにとって計画を「自分ごと」として捉える上で重要であると認識しております。市が掲げるビジョンにおいては、市民に分かりやすく伝えるため、図やイラストなどを用いて視覚的に「見える形」で示してまいります。また、具体的内容は実施計画に記載してまいります。目標値は、予算決算説明書においてKGIとKPIをセットし、成果測定してまいります。
5	全体	具体的なプロセスが行政主導の「ハコモノ整備」や「窓口設置」に偏っている。市民・企業・行政などが一体となる実効性のある計画とすべき。	行政主導の「ハコモノ整備」や「窓口設置」に偏りすぎることは、市民や企業の実情との乖離を招く可能性があるかと認識しております。今後、実施計画において市民・企業・行政が一体となり、実効性のある施策を推進するための共創のモデルを示すなど検討を進めてまいります。
6	全体	市民が「自分ごと」として捉えやすい表現とするため、専門用語や抽象的な表現をやめた方が良い。具体例を交えた分かりやすい記述に修正すべき。	DEIやDXといった先進的な理念を掲げることは、時代の要請に応えるために重要であると認識しております。一方で、これらの理念が市民の皆さまにとって分かりやすく、身近に感じられることも重要です。計画の表現や説明では専門用語をできる限り噛み砕くなど、分かりやすい記述に努めてまいります。
7	全体	施策の「成果」や「数値目標」を明確に示すべき。成果が具体的であれば、市民も協力しやすくなり、不安が希望に変わるため。	施策の成果測定は、予算決算などの管理でKGI・KPIを設定して行ってまいります。本計画はウェルビーイング指標を設定し、施策を総合的に捉えながら、市民の幸福度を測定してまいります。
8	全体	各テーマが独立して進むのではなく、テーマ同士が融合する形で進めるべき。	異なるテーマが交わることで、新たな解決策やアイデアが生まれ、市民生活の向上や地域課題の解決につながると考えております。今後は、実施計画においてテーマ間の連携を意識し、複数の課題を同時に解決するなどの共創のモデルを示せるよう検討を進めてまいります。

9	将来人口	2040年に人口11万人を目指す目標未達時の対応策が示されていない。代替シナリオや柔軟な対応策を提示することで本計画の信頼性を高めるべき。	目標達成には、地域活性化や定住促進に向けた施策を着実に進めることが重要となります。本計画は10年間という長期的な取り組みになることから、社会情勢などの変化も踏まえ、適宜見直しを図ってまいります。また、今回のご意見を踏まえ、計画期間や計画の見直しのタイミングなどについては、計画内にしっかり記載するように検討させていただきます。
10	基本理念	基本理念のD E Iは、職員や地域の負担軽減が必要であり、具体的な支援策も明示すべき。また、D Xでは市民への支援や現場職員への様々な配慮が必要となるため、D Xが目的化することなく、具体的な効果や効率を示すべき。	D E Iの推進では、支援策の明確化や研修会などを検討し、現場で対応しやすい環境整備を進めてまいります。D X推進では、デジタルに不慣れた市民や高齢者へのサポート体制の構築、職員研修の強化、業務負担軽減のためのプロセス設計などを進めてまいります。D Xが「目的化」しないよう予算決算などの管理にK G I・K P Iを設定することで、具体的な効果や効率化の内容を明示して進めてまいります。
11	基本理念	D E Iの考え方を初めて知り、調べた結果、不安を感じた。特に、グローバル人材の育成に関する取り組みは懸念が残る。	掛川市では、地域の特性を踏まえ、市民一人ひとりが安心して暮らし、活躍できる環境づくりを目指しております。グローバル人材育成については、地域の子どもたちが国際社会で活躍できる力を育むことを目的としておりますが、地域社会を支える人材育成にも重点を置き、地元の発展に寄与する施策を進めてまいります。
12	幸福度指標	主観的指標だけでは成果の比較や改善の検証が困難なため、客観的指標との関係性や年度ごとの具体的な改善目標を示す必要がある。	幸福度指標については、主観指標と客観指標を組み合わせることで、成果検証や改善点を分析してまいります。今回のご意見を踏まえ、計画内には全国の自治体と比較した主観指標と本市の主観指標と客観指標を分析したものを記載し、具体的な施策の検討に活用してまいります。
13	教育・ひとづくり	掛川市で生まれ育った子どもたちの活躍環境を第一に考えた政策を求めます。	掛川市では、子どもたちが地域社会に誇りを持ち、地元での就業や活動を希望できるよう、教育や産業振興、住環境の整備を進めてまいります。具体的には地元企業との連携によるキャリア教育の推進や若者が動きやすい雇用環境の整備、地域活動への参加機会の提供などを検討してまいります。
14	教育・ひとづくり	地域クラブやデジタル鑑賞は文化的素地を持つ人が関わりやすい場であるため、そうでない人にも文化を発信する取り組みが必要である。意識せずとも、文化度の高い暮らしをしていることが、生涯学習都市の理想像であると考えている。	地域の魅力を高め、市民の皆さまが生涯にわたって学びや交流を深められる重要な施策であると考えております。文化イベントの開催や文化施設の利用促進を通じて、幅広い市民が気軽に文化に触れる機会を提供できるよう検討してまいります。また、「意識せずとも文化度の高い暮らし」の実現に向けた施策の検討を進めてまいります。
15	教育・ひとづくり	図書館の使いやすさが文化度向上に重要であると考えているので改善を求めたい。	図書館の祝日休館の見直しについては、市民の学習機会を確保するため、利用状況や職員体制を踏まえた上で検討を進めてまいります。また、市内図書館を統合的に扱えるサービス導入については、図書館間の連携を強化し、利便性を高めるためのICT活用やサービス拡充を検討しながら推進してまいります。
16	教育・ひとづくり	不登校や特別支援を必要とする児童・生徒が増加している状況において、部活動廃止が子どもの孤立を助長している可能性がある。	ご意見を参考に取り組んでまいります。
17	教育・ひとづくり	サードプレイスは境遇ではなく、趣味や興味による「趣味単位のコミュニティ」を作るべきだと考えている。	ご意見を参考に取り組んでまいります。
18	教育・ひとづくり	居場所づくりと子育て支援の質向上を求めたい。	ご意見を参考に引き続き、居場所づくりと子育て支援の質の向上に努めてまいります。
19	教育・ひとづくり	生涯学習とは行政から教わるのではなく、市民自らが学び、行動することである。市民や企業等の熱意を引き出し縦割り・前例踏襲とならないことを期待している。	「生涯学習とは行政から教わるのではなく、市民自らが学び、行動すること」というご意見に深く共感いたします。多様な市民や企業などの熱意を引き出しながら「縦割り」や「前例踏襲」に陥らないよう柔軟性を持った施策の展開を目指してまいります。
20	教育・ひとづくり	地元の中学で仲間と部活動ができるよう、地元重視のクラブ運営を検討してもらいたい。地域クラブ化も段階的に移行することでトラブルやクレームを防ぐべき。	ご意見を参考に取り組んでまいります。
21	教育・ひとづくり	地域クラブ導入に際して、子ども・保護者・先生・指導者がスムーズに対応できるよう意見交換の場を増やしてもらいたい。	ご意見を参考に取り組んでまいります。

22	教育・ひとづくり	駅前に子育て中の家族やママ友が遊びに来やすい施設や環境を整備し、賑わいの基盤を構築すべき。	ご意見を参考に取り組んでまいります。
23	安全・安心(交通)	中山間地域では、移動の自由が「自分らしさ」に直結するため、「共助型ライドシェア」を検討段階から実施段階へと格上げしてもらいたい。	ご意見を参考に取り組んでまいります。
24	安全・安心	野生動物の出没増加の背景には、人間の生活圏拡大や森林環境の変化がある。「有害鳥獣」として排除するだけでなく、動物と人間が共存するための取り組みが必要だと考えている。	ご意見を参考に動物と人間の共存を目指してまいります。
25	安全・安心	海岸防災林事業「掛川モデル」について、県との連携を積極的に進めるべき。先陣をきって事例を作ることが重要であり、他地域に向けたモデルケースとしての価値が高い。	引き続き、県との連携を強化しながら、先進的な事例として他地域のモデルとなるような事業の推進に努めてまいります。また、事業進捗や成果については、市民の皆さまに分かりやすくお伝えし、地域全体で取り組みを支える体制を構築してまいります。
26	暮らし	近隣の市町村に比べ魅力が下がっている気がする。	自然、歴史、文化、地域資源といった掛川市の強みを活かすなど、魅力度向上に努めてまいります。
27	暮らし	人や企業を誘致する手立てを講じないと、ほどよい田舎が貧しい田舎になってしまうか。	掛川市の地理的優位性や産業基盤を活かし、企業が進出しやすい環境整備を進めてまいります。また、移住促進については、空き家活用や移住者向け支援施策をさらに充実させるとともに、既存市民が誇りを持てる地域づくり・まちづくりを推進してまいります。
28	暮らし	日本が外国人との共生を推進し、特定技能制度などで受け入れが加速する中、外国人労働者の受け入れの影響が心配される。	本市では、外国人労働者を含むすべての市民が地域社会の一員として共生できる環境づくりを進めております。日本人市民と外国人市民の共生・共創社会に向けた取り組みを進めてまいります。
29	暮らし	移住・定住促進のための「ワンストップ・ハブサイト」を構築すべき。	ご意見を参考に移住定住を進めてまいります。
30	暮らし	空き家活用を通じた移住定住施策と地域の魅力向上を検討すべき。	移住者の受け入れと同時に、既存市民が自分のまちに誇りを持ち、魅力を感じられることが重要な視点であると認識しております。掛川市の自然、歴史、文化、地域資源、人々といった魅力を共有し、生涯学習の理念と結びつけることで、地域の魅力をさらに高める取り組みを進めてまいります。
31	暮らし	地域おこし協力隊の活動評価と継続的に掛川市に関わり続けられるような仕組みを検討してほしい。	隊員が地域コミュニティへの深い理解や住民との丁寧な関わりを通じて、市の魅力を発信し大きな成果を上げていると認識しております。ご意見を参考に検討を進めてまいります。
32	暮らし	地域特有の要素（お茶・歴史・報徳精神など）を計画に反映し「掛川らしさ」を強調してほしい。	掛川市の魅力であるお茶、歴史、報徳精神などを計画に反映させることは、市民の誇りを醸成し、地域の独自性を高める上で重要であると考えております。計画の中で掛川市らしさをより強調してまいります。
33	暮らし	掛川市の資源（掛川城・掛川桜・倉真温泉）を活用したまちづくりを進めてもらいたい。	掛川市の資源は、地域の魅力向上や観光振興において大切であると認識しております。ご意見を参考に検討を進めてまいります。
34	暮らし	今ある観光資源を最大限に活用したまちづくりを推進し、車社会にも対応しつつ既存のまちを活かした都市計画を進め、滞在型観光地への転換を図ってもらいたい。	車社会に対応しながらも、既存のまちを生かした都市計画を進め、観光地としての魅力を高めるとともに、市民や観光客が滞在しやすい環境を整備してまいります。これらの取り組みを通じて、地域全体の賑わい創出と経済活性化を目指してまいります。
35	暮らし	観光面では遠方からの集客にこだわらず、市内や近隣市町からの来客をメインターゲットとして施策を進めてもらいたい。	ご意見を参考に観光戦略を進めてまいります。
36	環境	経済政策において循環経済とリスクリングを強調すべき。	ご意見を参考に施策を推進してまいります。
37	環境	ごみ捨ての仕組みを改善し、利便性を向上させてもらいたい。	資源循環を重視するなど、ご意見を参考に施策を推進してまいります。

38	経済	田んぼが太陽光パネルに変わる現状を憂慮し、優良農地への設置を制限するゾーニングの厳格化を求める。掛川市独自の景観保護ルールを策定すべき。	ご意見を参考に組み込んでまいります。
39	経済	工業団地造成や企業誘致に賛成だが、「地域経済循環」を意識した企業選定や支援を求めたい。	ご意見を参考に組み込んでまいります。
40	経済	有機茶やてん茶への転換を支援するため、初期投資リスクの軽減や所得補償など具体的な支援策を求めたい。	来年度、具体計画となる実施計画を策定してまいります。ご意見を参考に、その中で検討させていただきます。
41	経済	起業支援の強化を図るため、市全体を実証実験の場として開放し、既存企業との協業を促進すべき。	来年度、具体計画となる実施計画を策定してまいります。ご意見を参考に、その中で検討させていただきます。
42	都市・交通	ウォークアブルなまちづくりを進める際、「地域内消費の増加」を成果目標に設定すべき。	来年度、具体計画となる実施計画を策定してまいります。ご意見を参考に、その中で検討させていただきます。
43	都市・交通	「筆界未定地」を安易に作成せず、「地籍調査未実施」として処理する方法を検討してほしい。また、災害時の迅速な復旧のため、公共基準点の管理を徹底してもらいたい。	来年度、具体計画となる実施計画を策定してまいります。ご意見を参考に、その中で検討させていただきます。
44	都市・交通	スマートIC（倉真）は東西方向の移動がスムーズになり、上西郷の都市開発にも大きく貢献する可能性が高いと考えている。スマートICの推進を通じて、交通の利便性向上や都市開発との連携を図ってもらいたい。	ご意見を参考に組み込んでまいります。
45	都市・交通	車社会である掛川市においても、岡崎市や富士宮市のように既存のまちを活かした都市計画を参考にしてもらいたい。	ご意見を参考に組み込んでまいります。
46	都市・交通	掛川駅から掛川城までの車道幅を狭め、細い路地を増やすことで、散策を楽しめる空間を整備すべき。	ご意見を参考に組み込んでまいります。
47	その他	※総合計画策定においては直接的な関連はありませんが、上記とは別に個別具体的な内容のご意見をいただいております。引き続き、市民の皆さまからお預かりしたご意見を大切にしながら、地域の課題解決や魅力あるまちづくりを進めてまいります。今回いただいたご意見は、令和8年度に策定する「実施計画」の参考にさせていただきます。この度は、貴重なご意見などをいただき誠にありがとうございました。	